

エコアクション21

環境活動レポート

(2017年10月1日～2018年9月30日)

1. 組織の概要	P.2
2. 対象範囲	P.2
3. 環境方針	P.3
4. 環境目標	P.4
5. 環境活動計画、環境目標の実績及び環境活動計画の 取組結果とその評価並びに次年度の取組内容	P.6
6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	P.8
7. 代表者による全体評価と見直しの結果	P.8

2019年3月8日発行

2019年4月24日発行

三信工業株式会社

1. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者氏名

三信工業株式会社
代表取締役 桐山 好史

(2) 所在地

認証・登録範囲 本社 東京都中央区銀座7-17-15(オーク銀座木挽町ビル)
大阪支店 大阪府大阪市北区芝田1-12-7 大栄ビル新館4F
横浜工場 神奈川県横浜市金沢区福浦1-8-2
千葉工場 千葉県千葉市緑区おゆみ野1-11-1

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 横浜工場 工場長 奥 貴代隆
担当者 製造部 生産技術課 大野 翼

連絡先 電話 045-784-7875
FAX 045-785-1321
e-mail t-ohno@sanshin-ind. co. jp

(4) 事業活動の内容

エンジンガスケット用基材の製造
金属テープ - フィルムラミネート品の製造・販売
金属製品の防食・絶縁加工

(5) 事業の規模

売上高:23.6億円(2018年度)

	全社	本社(大阪含む)	横浜工場	千葉工場
従業員数(人)	74	17	46	11
延床面積(m ²)	8918	200	5997	2721

2. 対象範囲

(1) 認証・登録対象組織(所在地は1. (2)に記載)

本社、大阪支店、横浜工場、千葉工場

(2) 認証・登録対象活動

エンジンガスケット用基材の製造
金属テープ - フィルムラミネート品の製造・販売
金属製品の防食・絶縁加工

3. 環境方針

環境方針

3

三信工業株式会社は、社会に貢献できる企業を目指し、
当社の事業活動において地域性及び環境に配慮した
環境保全に対する自主的な取組を展開します。

活動指針

1. 事業活動による環境への影響を把握し、技術的・経済的に可能な環境目標を定め、環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。
2. 環境に関連する法規・条例・協定及び当社が同意する要求事項を遵守し、環境の保全、地域社会との調和に努めます。
3. 当社の事業活動に於いて環境負荷の低減及び環境改善を図るため、以下の項目に重点を置き環境保全活動を推進します。
 - (1) 省エネルギーの推進
 - (2) 廃棄物の削減とリサイクルの推進
 - (3) 化学物質の削減
 - (4) グリーン購入の推進
 - (5) 環境に配慮した製品サービスの向上
4. 環境保全活動を推進するため、環境活動プログラムに積極的に参加します。
5. 環境方針は全従業員に周知し、環境保全に対する意識向上を図ります。又、環境方針が誰でも入手できるよう一般に公開します。

2017年 12月 1日 制定

三信工業 株式会社

代表取締役

桐山 好史

4. 環境目標

(1) 全社

環境目標	単位	基準(実績)	年度目標	中期目標
		2014年度	2018年度	2019年度
1. CO ₂ 排出量の削減	t-CO ₂ /年	1343	▲ 2.0% 1316	▲ 2.5% 1309

電力CO₂排出係数は本社/横浜/千葉:0.515、大阪:0.513を適用

(2) 各事業所

1) 本社

環境目標	単位	基準(実績)	年度目標	中期目標
		2014年度	2018年度	2019年度
1. 電気使用量の削減	MWh	29.0	▲ 2.0% 28.4	▲ 2.5% 28.2
2. 廃棄物排出量の削減 (OA用紙の削減)	kg	557	▲ 2.0% 546	▲ 2.5% 543
3. 水資源投入量の削減	-	共益費に含まれ計測不能		
4. 化学物質使用量の削減	-	使用実績なし		
5. グリーン購入の拡大 (事務用品)	グリーン購入率	38%	△ 4% 42%	△ 5% 43%
6. 製品・サービスの向上	件以下	-	7 (社外)	6 (社外)

2) 大阪支店

環境目標	単位	基準(実績)	年度目標	中期目標
		2014年度	2018年度	2019年度
1. 電気使用量の削減	MWh	4.27	▲ 2.0% 4.18	▲ 2.5% 4.16
2. 廃棄物排出量の削減 (OA用紙の削減)	kg	162	▲ 2.0% 159	▲ 2.5% 158
3. 水資源投入量の削減	-	共益費に含まれ計測不能		
4. 化学物質使用量の削減	-	使用実績なし		
5. グリーン購入の拡大	-	高水準の為現状を維持する		
6. 製品・サービスの向上	件以下	-	4 (社外)	3 (社外)

3) 横浜工場

環境目標	単位	基準(実績)	年度目標	中期目標
		2014年度	2018年度	2019年度
1-1. 電気使用量の削減	kWh /百万円	1941	▲ 2.0% 1902	▲ 2.5% 1892
1-2. ガス使用量の削減	m ³ /百万円	207	▲ 2.0% 202	▲ 2.5% 201
2. 廃棄物排出量の削減	t /百万円	76.0	▲ 2.0% 74.5	▲ 2.5% 74.1
3. 水資源投入量の削減	m ³ /百万円	18.1	▲ 2.0% 17.7	▲ 2.5% 17.6
4. 化学物質使用量の削減	t /百万円	28.7	▲ 2.0% 28.1	▲ 2.5% 27.9
5. グリーン購入の拡大	グリーン購入率 (事務用品)	44%	△ 4.0% 48%	△ 5.0% 49%
6. 製品・サービスの向上 (不良件数の低減)	件以下	33 (社外)	18 (社外)	20 (社外)

4) 千葉工場

環境目標	単位	基準(実績)	年度目標	中期目標
		2014年度	2018年度	2019年度
1-1. 電気使用量の削減	kWh /百万円	444	▲ 2.0% 435	▲ 2.5% 433
1-2. ガス使用量の削減	m ³ /百万円	4.1	▲ 2.0% 4.0	▲ 2.5% 4.0
2. 廃棄物排出量の削減	t /百万円	21.9	▲ 2.0% 21.4	▲ 2.5% 21.3
3. 水資源投入量の削減	-	適正な使用・管理を継続する		
4. 化学物質使用量の削減	-	適正な使用・管理を継続する		
5. グリーン購入の拡大	グリーン購入率 (事務用品)	60%	△ 4% 64%	△ 5% 65%
6. 製品・サービスの向上 (不良件数の低減)	件以下	3 (社外)	2 (社外)	2 (社外)

5. 環境活動計画、環境目標の実績及び環境活動計画の取組結果とその評価及び次年度の取組内容

(1) 全社

環境活動計画	単位	年度目標	実績	達成区分	評価／次年度の取組内容
1. CO ₂ 排出量の削減	t-CO ₂ /年	1316	1141	○	次年度も更に生産効率向上に重きを置き目標達成に努めます。

(2) 各事業所 (※電力CO₂排出係数は本社/横浜/千葉:0.515、大阪:0.513を適用)

1) 本社

環境活動計画	単位	年度目標	実績	達成区分	評価／次年度の取組内容
1. 電気使用量の削減	MWh	28.4	25.5	○	7～9月は計画使用量をオーバーしたものの、節電等の徹底を行い、年間目標をクリアしました。
2. 廃棄物排出量の削減 ・適切な分別を実施する	kg	546	665	×	資料差替えを行ったため、目標を上回る排出量となってしまった。
3. 水使用量の削減	-	共益費に含まれ計測不能		-	引き続き節水を啓蒙するステッカーを掲示することで節水に努めます。
4. 化学物質使用量の削減	-	使用実績なし		-	
5. グリーン購入の拡大 ・グリーン購入品を意識した購入の推進	グリーン購入率 (事務用品)	42%	64%	○	目標達成しました。次年度も今年度同様の意識を継続し推進します。
6. 製品・サービスの向上	件以下	7 (社外)	5 (社外)	○	品質維持活動・個々の不具合対策の効果が出ている。特に前年度目立った運送事故は業者変更・注意喚起等の対策により効果が見られました。

2) 大阪支店

環境活動計画	単位	年度目標	実績	達成区分	評価／次年度の取組内容
1. 電気使用量の削減	MWh	4.18	4.25	×	目標は達成出来なかったが前年に比べ達成月は増えた。クールビズ・ウォームビズを徹底するよう心掛けます。
2. 廃棄物排出量の削減 ・コピー・プリントアウトの削減	kg	159	65	○	2017/5より新聞購入をやめた為毎月の排出量が半分以下に激減しました。
3. 水使用量の削減	-	共益費に含まれ計測不能		-	引き続き節水を啓蒙するステッカーの掲示をすることで節水に努めます。
4. 化学物質使用量の削減	-	使用実績なし		-	
5. グリーン購入の拡大 ・事務用品のグリーン購入推進	グリーン購入率 (事務用品)	高水準で推移している為、現状維持とし目標値は設定していない			引き続きグリーン購入を推進していきます。
6. 製品・サービスの向上	件以下	4 (社外)	0 (社外)	○	通期に渡りクレームは無かった。今後も社外クレームを出さないよう心掛けていきます。

3) 横浜工場

環境活動計画	単位	年度目標	実績	達成区分	評価/次年度の取組内容
1-1. 電気使用量の削減	kWh /百万円	1902	1883	○	年度目標は達成したものの基準年と本年度の実働が単月では大きくズレており極端な達成・未達の月が発生している。目標の見直しで改善を図ります。
1-2. ガス使用量の削減	m ³ /百万円	202	156	○	同上
2. 廃棄物排出量の削減 ・廃棄物分別の徹底 ・リサイクルの推進	kg /百万円	74.5	99.0	×	遊休資産等の設備を除却・廃棄をしたために処分量が多くなってしまいました。
3. 水使用量の削減 ・洗浄水の定量化 ・配管水漏れチェック	m ³ /百万円	17.7	14.6	○	年間を通して良好な結果となりました。今後も継続していきたいと思います。
4. 化学物質使用量の削減 ・化学物質の適正管理	t /百万円	28.1	27.7	○	目標は達成したが使用量は自社内でコントロールしづらい状況であるため活動の見直しを図りたいと思います。
5. グリーン購入の拡大 ・事務用品のグリーン購入推進	グリーン購入率 (事務用品)	48%	50%	○	目標は達成達成しました。今後は2017年度版ガイドラインに基づいて見直しを図ります。
6. 製品・サービスの向上	件以下	18 (社外)	21 (社外)	×	再発ではないが件数が増えているため、来期に向けて有効性のある不具合対策を考えます。

4) 千葉工場

環境活動計画	単位	年度目標	実績	達成区分	評価/次年度の取組内容
1-1. 電気使用量の削減	kWh /百万円	435	409	○	年間を通して概ね達成できました。
1-2. ガス使用量の削減	m ³ /百万円	4.0	1.2	○	年度目標は大きく達成し、絶対量も500 m ³ 削減出来ました。
2. 廃棄物排出量の削減 ・廃棄物分別の徹底 ・リサイクルの推進	kg /百万円	21.4	27.8	×	不要資産の廃棄により目標未達となってしまった。
3. 水使用量の削減 ・洗浄水の定量化 ・配管水漏れチェック	-	使用量が少ない為、現状維持とし目標値は設定していない			数値に変動はなく、これまで同様、節水意識継続による維持管理をします。
4. 化学物質使用量の削減 ・化学物質の適正管理	-	使用量が少ない為、現状維持とし目標値は設定していない			これまで同様、材料ロス低減の意識継続による維持管理をします。
5. グリーン購入の拡大 ・事務用品のグリーン購入推進	グリーン購入率 (事務用品)	64%	69%	○	年間を通じて目標は概ね達成。来期も拡大することを目標とする。
6. 製品・サービスの向上	件以下	2 (社外)	1 (社外)	○	今後も達成できるよう努めます。

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

適用される主な環境関連法規等は次の通り

適用環境関連法規等	適用される事項(施設、物質、事業活動等)
廃棄物処理法	産業廃棄物(金属クズ、廃プラ、廃油等)の管理
消防法	危険物倉庫及び危険物の管理
PRTR法	化学物質量の把握と報告
下水道法	排水
水質汚濁防止法	排水
フロン排出抑制法	全ての第一種特定製品(業務用の冷凍空調機器)の簡易点検及び定期点検
横浜市生活環境の保全等に関する条例	横浜工場
千葉県環境保全条例	千葉工場

環境関連法規等の遵守状況を確認し評価した結果、環境関連法規等への違反・訴訟はありません。なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

今年度も、全社目標の「CO₂排出量」については目標達成しました。但し、本社は「廃棄物排出量の削減」、大阪支店は「電気使用量の削減」、横浜工場は「廃棄物排出量の削減」・「製品・サービスの向上」、千葉工場は「廃棄物排出量の削減」が未達成でした。取り組み内容を全従業員と共有した上で実施し更なる環境改善に貢献していきたいと思っております。